

アンサーバックシステム
リモコンエンジンスターター&ターボタイマー

取扱説明書／保証書

BeTime

A-13

この度はリモコンエンジンスターターを、お買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。ご使用前に、この取扱説明書をよくお読み
のうえ、正しくお使いください。なおお読みになられた後も、いつ
も見られる場所に大切に保管してください。

目次

○ 主な特徴	2ページ
○ 使用上の注意	3ページ
○ 各部の名称と梱包内容	4・5ページ
○ 取付前の注意	6ページ
○ 取付け	
・ 接続	7~9ページ
・ 接続完了後の作動確認	10・11ページ
・ LED確認(アンテナユニット・メインユニット)	12ページ
・ メインユニットのファンクションスイッチ設定方法	13ページ
・ メインユニット14Pコネクターの接続方法	14ページ
・ セル&グロータイムボリュームの調整の仕方	14ページ
・ フットブレーキ配線	15ページ
・ L端子検出配線	16ページ
・ アンテナユニット・メインユニットの固定方法	17ページ
・ 警告ステッカーの貼り付け場所	17ページ
○ 機能説明	
・ リモコンの使用方法和アンサーバック機能について	18ページ
・ エンジンスターターのアイドルリング時間及びターボタイマー時間の変更について	19ページ
・ ECOモードについて	20ページ
・ セキュリティーモード & 弊社別売盗難警報装置「守護神」との接続について	21ページ
○ 運転するには	22ページ
○ リモコンを紛失した時は	22ページ
○ リモコンの電池交換について	22ページ
○ 故障かな?と思ったら	23・24ページ
○ アフターサービスについて	25ページ
○ 仕様	26ページ
○ 保証規定	27ページ
○ 保証書	28ページ

COMTEC

D-Ver.2

主な特徴

- リモコンでエンジン始動が確認できる双方向エンジンスターター&ターボタイマー。
- 温度センサーによりアイドリング時間を自動調整するECOモード採用。 [NEW]
- リモコン操作でエンジンスターターのアイドリング時間を簡単に設定できます。 [NEW]
(10分→30分又は、20分→40分)
- セキュリティーモードの採用で不審者に心理的な威圧感を与えます。 [NEW]
リモコンにより当社別売の自動車盗難警報装置「守護神」のON/OFF操作が可能です。
- リモコン電波視界到達距離2500M以上。
- リモコンはダブルスイッチ方式採用でうっかり押しを防止。
- ターボタイマー時間の変更可能。
(OFF・30秒・1分・5分)
- リモコンは抗菌材料を使用しています。
- メインユニット内蔵チェックランプにより下記の接続ミスを簡単に確認できます。 [NEW]
 - 1.アース配線。
 - 2.L端子配線。
 - 3.フットブレーキ配線。
- 8日間、車のエンジンをかけなかった場合、本体の消費電力を自動的に抑えるスリープ機能付き。
- 万々に備えた安全機能
 - (1) 独立配線システム [特許No.2526288]
独立配線システムの採用でスターター作動中にキースイッチ内に電気が流れないのでキーを抜いた状態でIG2とST2の回路が接している車種の場合でも正常に電気が流れ、サブグロー・オルターネーター・バッテリー・コンピューターなどの破損を防止することができます。
 - (2) IDコードによる誤作動防止機能
本製品のリモコンには数千万通りのIDコードが登録されているため、他のリモコンによる誤作動を防止します。万ーリモコンを紛失された場合でも新しいリモコンを購入してIDコードを再登録しなおせば、ご使用できます。
 - (3) A/Tシフトストップ回路
本機が作動中(アイドリング中)にA/Tシフトレバーをパーキング[P](もしくはニュートラル[N])から他のポジションへ移動させた場合、自動的にエンジンが停止します。
 - (4) フットブレーキストップ回路
本製品が作動中(アイドリング中)にフットブレーキを踏むと、エンジンが自動的に停止します。※ (3) と (4) はどちらか選択になります。
 - (5) ボンネットセンサー回路(オプション)
当社別売ボンネットセンサー(Be-960)を取付けることにより本製品が作動中(アイドリング中)、ボンネットをあけるとエンジンを強制停止できます。※ボンネットを開いている時はリモコン操作をしても本機は作動しません。
 - (6) ドアオープン(カーテシ)ストップ回路(オプション)
当社別売ドアオープン(カーテシ)センサー(Be-963)を取り付けることにより本製品が作動中(アイドリング中)、ドアを開けるとエンジンを強制停止できます。※ドアを開いている時は、リモコン操作をしても本機は作動しません。

使用上の注意

危険

事故・火災等の危険性がある、下記の状態や場所での使用は避けてください。

- 公道や公共の駐車場での使用は道路交通法違反となります。必ず私有地でご使用ください。
- 排気ガス中毒の危険性がある換気の悪い車庫や屋内での使用はしないでください。
- ボディカバーを掛けたままの使用はしないでください。
- 火災の危険性がある燃えやすい物の近くでは、使用しないでください。
- 暴走事故を防止するため、イグニッションキーをオフにする時はA/Tシフトレバーをパーキング[R]に入れ、パーキングブレーキを確実にかけてから行ってください。特に、日産A/T車でキーロックリレーアダプターを装着した車は、パーキング[R]以外でもイグニッションキーを抜くことができるため、必ず守ってください。
- 暖気運転の直後や本製品作動中にエンジン点検等を行うと、火傷をする恐れがありますので、エンジンルーム内を十分に冷ましてから行ってください。
- お子様やペットを車に乗せたままでは、絶対に使用しないでください。
- リモコンはお子様の手の届かない場所に大切に保管してください。

注意

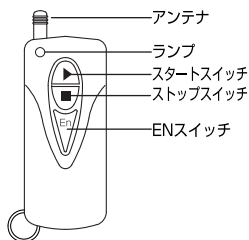
車の故障又は本機使用中、機能面に支障を起こす可能性がある下記の使用は注意してください。

- 本製品は日本国内のみ使用できます。海外では使用しないでください。
- リモコンのケースやアンテナを手等で包み込むと電波の飛距離が短くなります。
- リモコン裏面の技術基準適合証明ラベルは、はがさないでください。
- リモコンを分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、罰せられることがあります。
- ターボタイマー（スターター含む）や他社盗難警報機との併用取付けはできません。
- キーレスエントリーシステムまたはワイヤレスドアロックは、リモコンでエンジンを停止してからご使用ください。
- 本製品作動中、オートポジションステアリング及びシートが作動しないことがあります。リモコンでエンジンを停止してからご使用ください。
- オートライトコントロールシステムは、降車時にスイッチをOFFにしてからイグニッションキーを抜いてください。（オートライト配線を行っていない場合）

イグニッションキーでエンジン始動及び停止した場合、車載のスピーカーから異音が鳴ることがありますが、これは異常ではありません。

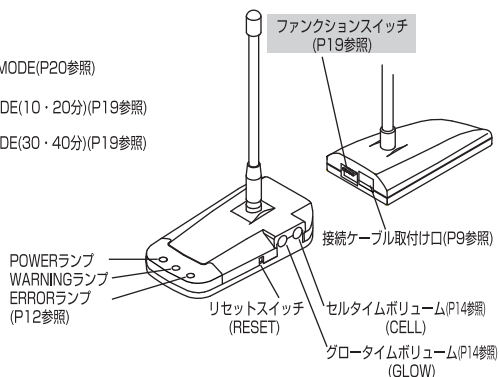
各部の名称と梱包内容

■ リモコン(1個)

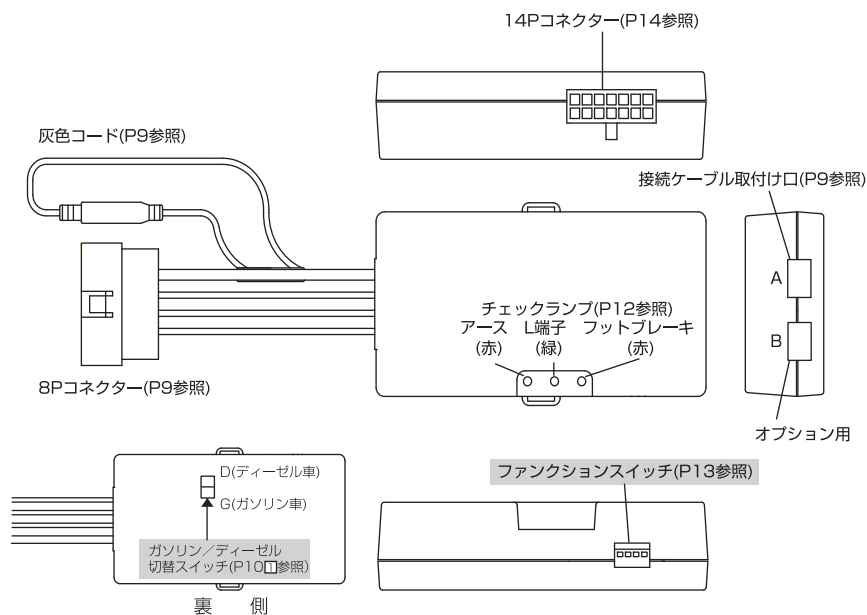


ECO MODE(P20参照)
A MODE(10・20分)(P19参照)
B MODE(30・40分)(P19参照)

■ アンテナユニット(1個)

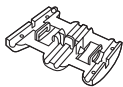


■ メインユニット(1個)



■付属品

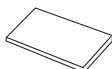
■エレクトロタップ(2個)



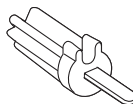
■コードクランプ (4個)



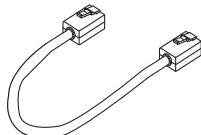
■両面テープ(アンテナユニット固定用 1枚)



■調整ドライバー (1個)



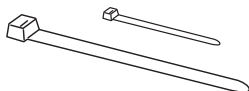
■接続ケーブル(1本)



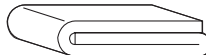
■警告ステッカーシート (1枚)



■インシュロック
(大) (3本)
(小) (5本)



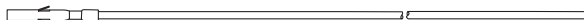
■保護テープ(1枚)



■フットブレーキ端子線(黄色)(P15参照)(1本)



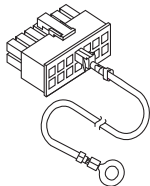
■L端子線(白色)(P16参照)(1本)



■自動車盗難警報装置「守護神」(当社別売)接続端子線(茶色)(P21参照)(1本)



■14Pコネクター(1個)&アース端子線(黒色)(P8参照)(1本)



取付け前の注意

取付ける前に下記の点に注意して、本機の取付けを行ってください。

① 取付けに必要な工具等

- ・サーキットテスター
- ・ドライバー
- ・プライヤー
- ・スパナ又はボックスレンチ
- ・カッターナイフ
- ・絶縁テープ

☆その他の工具が必要になる場合があります。

② シフトレバーとパーキングブレーキ(サイドブレーキ)について

シフトレバーをパーキング [P] にして、パーキングブレーキ(サイドブレーキ)を確実にかけ、イグニッションキー(IGキー)を抜きます。



③ 配線について

- アンダーカバー内へ収納する際、車の金属部（コラムシフトレバー可動部、ステアリング可動部、ペダルのスプリング、その他鉄板等）に専用ハーネスやコード類が接触する場合は、その部分に必ず絶縁テープ等を貼って保護してください。



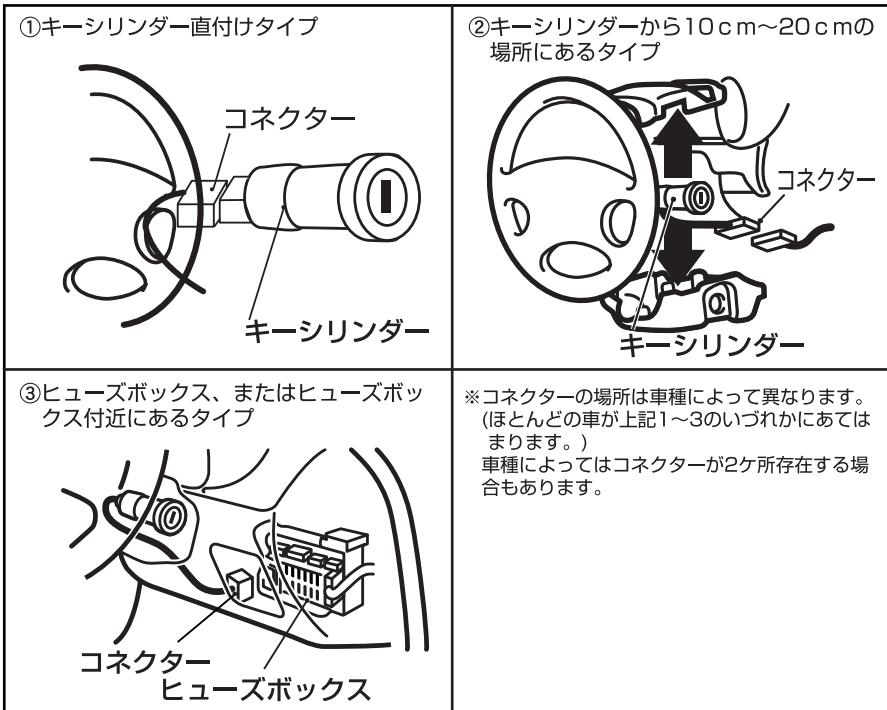
④ エレクトロタップについて

■エレクトロタップの使用方法

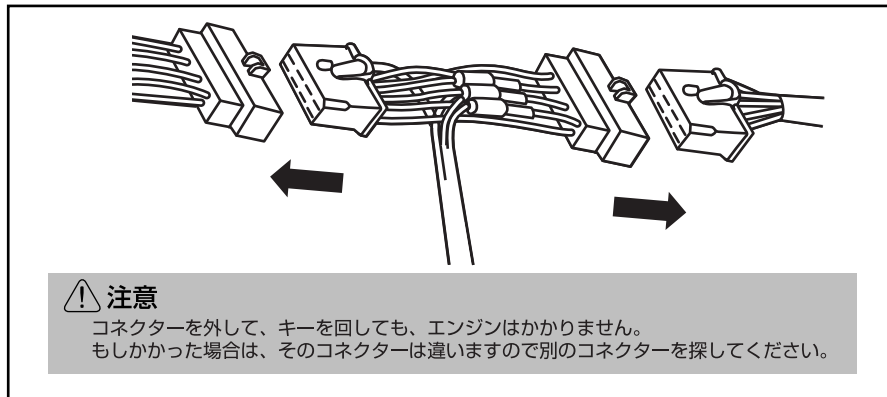
<p>1 タップを図のように見ます。</p> <p>ストッパー</p> <p>ストッパー付きコード溝</p> <p>ストッパー無しコード溝</p>	<p>2 ストッパー付きコード溝に本機のコードを挟みプライヤー等でロックします。</p> <p>ロックする</p>
<p>3 ストッパー無しコード溝に車側のコードを挟みプライヤー等でロックします。</p> <p>ロックする</p>	<p>4 絶縁テープを巻きます。</p> <p>ココまでまく</p>

取付け (接続)

1 車のキーシリンダーから出ているコネクターを探してください。



2 車側のコネクターを外し、外したコネクター間を専用ハーネスで接続してください。

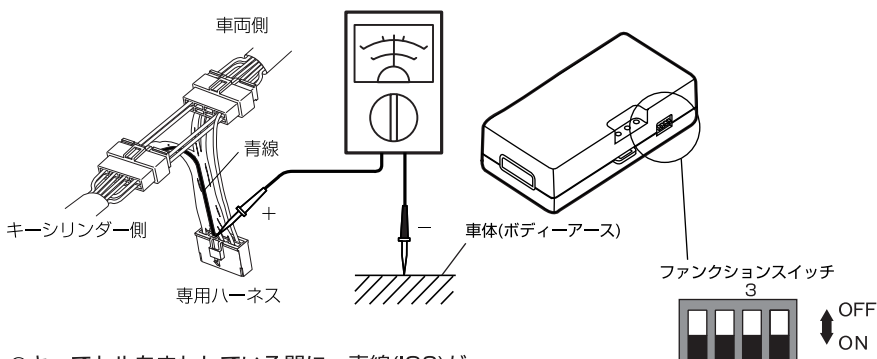


取付け（接続）

3 メインユニットのファンクションスイッチNo.3の設定

⚠ 注意 この設定をしないと、ABSランプが点灯したり、エンジンがかからない場合があります。

①テスターを図のように専用ハーネスのキーシリンダー側の青線(IG2)にあてます。
(※青線のないハーネスはメインユニットファンクションスイッチNo.3をOFFにします)

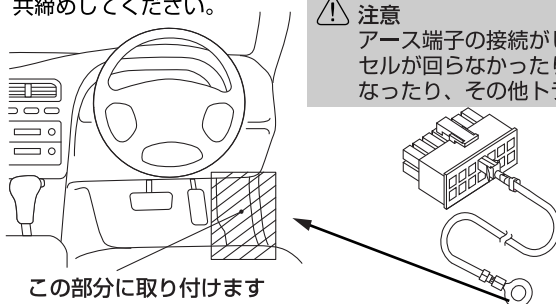


②キーでセルをまわしている間に、青線(IG2)が
0(v)の時は、メインユニットファンクションスイッチNo.3をONにします。
12(v)の時は、メインユニットファンクションスイッチNo.3をOFFにします。

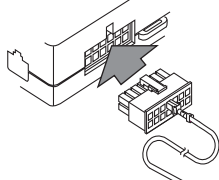
4 アースの取付

①アース端子(黒コード)を、塗装されていないボディまたはフレームのビスへ確実に共締めしてください。

⚠ 注意
アース端子の接続がしっかり固定していないと、セルが回らなかったり、リモコンの飛距離が短くなったり、その他トラブルの原因になります。

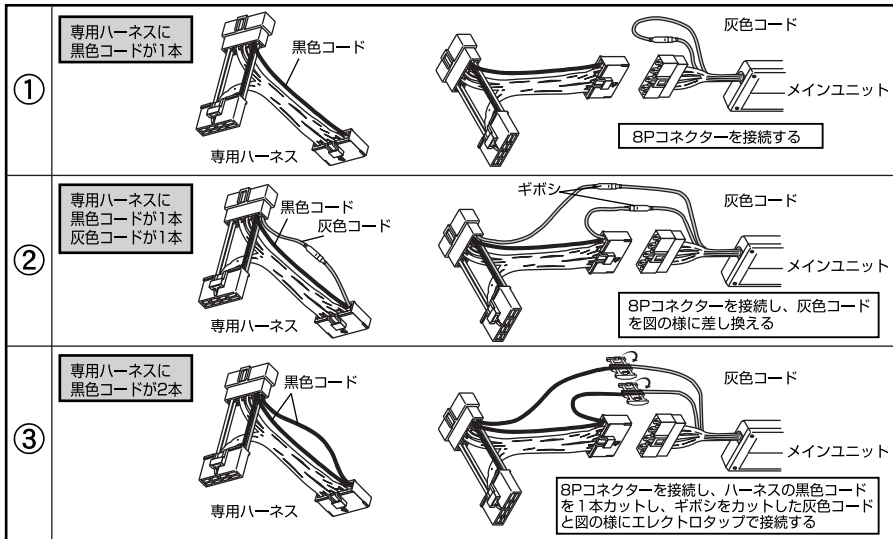


②メインユニットにコネクタを差し込みます。



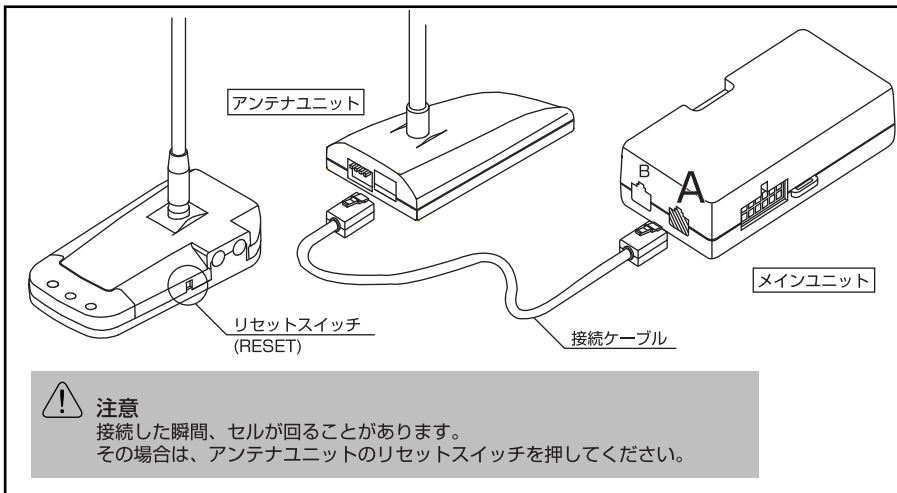
取付け (接続)

- 5** 専用ハーネスの8Pコネクタとメインユニットの8Pコネクタを接続します。
下記の図①・②・③から専用ハーネスの種類を確認し、配線してください。



6 アンテナユニットとメインユニットの接続

付属接続ケーブルをアンテナユニットとメインユニットの取付け口Aに、それぞれ接続してください。



取付け (接続完了後の作動確認)

! 取付け・接続後必ず以下の作動確認を行ってください。
 作動確認前に安全のため、必ずサイドブレーキをかけてください。
 下記の手順に従って作動確認を行ってください。対処方法は次のページを参照してください。

作動確認手順	対処方法
<p>1 アンテナユニットとメインユニットのファンクションスイッチを全てOFFにしてください。メインユニット裏側のスイッチをガソリン車の場合はGに、ディーゼル車の場合はDに切替えてください。</p> <p>! 但し、下記に該当する一部の車種はスイッチをONにしてください。 ①ダイハツムーブの一部車種はリモコンでかけた時、アンテナユニットのPOWERランプが点灯したままセルがまわらずエンジンが始動しなかったり、ターボタイマーを使用した場合、キーを抜いてもPOWERランプが点灯したままエンジンが停止しない場合があります。その場合はメインユニットのNo.1のスイッチをONにしてください。(P13参照) ②セル始動時、キーシリンダー側の青線(IG2)がO(V)の車種はメインユニットのNo.3のスイッチをONにしてください。(P8参照)</p>	
<p>2 キーをACC(アクセリ)の位置まで回してください。 Q:この時、ラジオ等アクセサリ電源のON/OFF操作ができますか？</p> <p>YES → NO →</p>	A
<p>3 キーをONの位置までまわしてください。 Q:この時、メーターパネル等の電源がONになり、メインユニットのアースランプ(赤)とアンテナユニットのPOWERランプ(緑)が点灯しますか？</p> <p>YES → NO →</p>	B
<p>4 Q:キーをセルまで回して車のエンジンが始動しますか？</p> <p>YES → NO →</p>	A
<p>5 Q:キーを抜いて車のエンジンが停止しますか？</p> <p>YES → NO →</p>	C
<p>6 アンテナユニットのRESETスイッチを押してください。(アンテナユニットのPOWERランプとERRORランプが点灯します。)次にリモコンでENスイッチを押した後、リモコンのランプが点滅している間にスタートとストップスイッチを同時に押します。 Q:この時、アンテナユニットランプは全て消えましたか？</p> <p>YES → NO →</p>	D
<p>7 リモコンでENスイッチを押した後、リモコンのランプが点滅している間にスタートスイッチを押します。 Q:この時、アンテナユニットのPOWERランプが点灯し、エンジンが始動しますか？(エンジン始動後、アンテナユニットPOWERランプは点滅します。)</p> <p>YES → NO →</p>	E
<p>8 エンジン始動中にキーを入れ、ACC(アクセリ)の位置でまで回してください。フットブレーキを踏み、シフトレバーをP(パーキング)又はN(ニュートル)ポジション以外の位置へ動かします。 Q:この時、アンテナユニットのERRORランプとPOWERランプが同時に点滅して、エンジンは停止しますか？</p> <p>YES → NO →</p>	F

すべての作動は正常です。一旦キーをONまで回せば点滅は解除され、キーを抜けば終了です。

対処方法

A

- 1.専用ハーネスの配線場所が違っていませんか？(P7参照)
- 2.専用ハーネスの配線方法が違っていませんか？(P7～9参照)
- 3.お車に適した専用ハーネスを使用していますか？
(車種別専用ハーネス表で確認するか弊社サービス部までご連絡ください。)

B

- 1.専用ハーネスの配線場所が違っていませんか？(P7参照)
- 2.専用ハーネスの配線方法が違っていませんか？(P7～9参照)
- 3.お車に適した専用ハーネスを使用していますか？
(車種別専用ハーネス表で確認するか弊社サービス部までご連絡ください。)
- 4.メインユニットのアースランプが消えている場合。
→アースをしっかり固定してください。(P8参照)

C

- 1.ターボタイマーが作動していませんか？(P19参照)

D

- 1.メインユニットとアンテナユニットのコネクターはしっかり接続していますか？
(P9参照)

E

- 1.エンジンはかかるがすぐ止まり、同じことを2回繰り返す。
→L端子配線をしてください。(P16参照)
- 2.受信するがセルがまわらない。メインユニットのアースランプが消えていますか？
→アースをしっかり固定してください。(P8参照)
- 3.セルだけ回ってエンジンがかからない。同じことを1、2回繰り返す。
 - ・セル時間が短い可能性があります。(ガソリン/ディーゼル車)
→アンテナユニットのセルタイムボリュームを長めに調整してください。
(P14参照)
 - ・グロー時間が短い可能性があります。(ディーゼル車)
→アンテナユニットのグロータイムボリュームを長めに調整してください。
(P14参照)
- 4.エンジンがかかってもすぐ止まる。アンテナユニットのERRORランプ(赤色)とPOWERランプ(緑色)が同時に点滅していませんか？
P/N検出エラーです。フットブレーキ配線をしてください。(P15参照)
- 5.ENボタンを押した時は音が鳴り、赤色ランプも点滅するが、その後スタートボタンを押した時赤色ランプが点灯せず、音も鳴らないですか？
→リモコンの側面のスライドスイッチが中途半端な位置になっていますので、正しい位置に動かして下さい。

F

- 1.アンテナユニットのERRORランプ(赤色)とPOWERランプ(緑色)が同時に点滅していませんか？
→フットブレーキ配線をしてください。(P15参照)

取付け (LED確認表)

接続後の動作確認時や本製品アンテナユニット及び、メインユニット使用時に下記の表示をした場合、内容と対策/解除方法を表します。

LED確認表

アンテナユニット

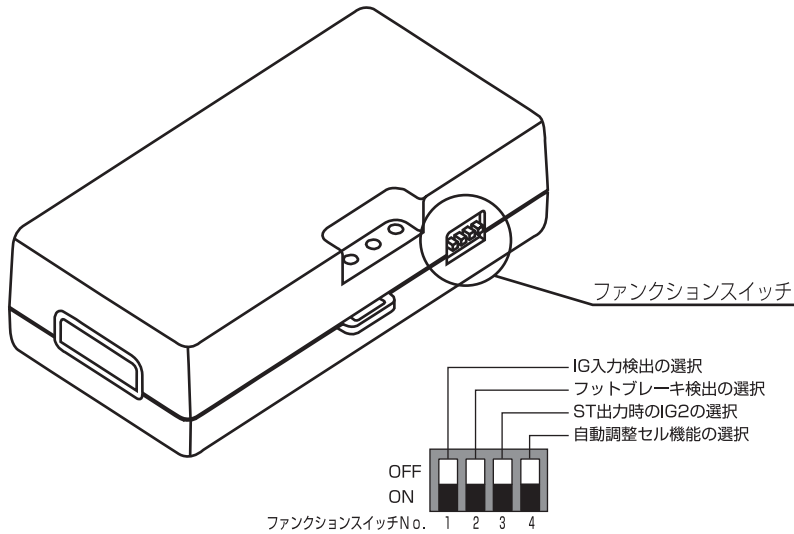
パターンNo.	ランプ名称(色)	アンテナユニットランプ表示	表示内容	対策/解除方法
1	ERRORランプ (赤)		待機状態	正常作動しています。
	POWERランプ (緑)			
2	ERRORランプ (赤)		IGキーがONの状態	正常作動しています。
	POWERランプ (緑)			
3	ERRORランプ (赤)		リモコンIDコード未登録 (リセットスイッチを押した後、 又はバッテリー交換直後の状態)	リモコンでIDコードを登録して ください。 (P18参照)
	POWERランプ (緑)			
4	ERRORランプ (赤)		IGキーがOFFで本機作動中の状態 (エンジンスターター又はターボタ イマーがONしている時)	正常作動しています。
	POWERランプ (緑)			
5	WARNINGランプ (赤)		セキュリティモード ON	正常作動しています。
	WARNINGランプ (赤)		セキュリティモード OFF	
6	ERRORランプ (赤)		本機作動中にシフトレバーをP (パーキング)又はN(ニュートラル)以外に 動かして、エンジンがストップ した時の状態。	解除するには再度リモコンでスタ ートさせるか、IGキーをONの位 置までまわしてください。
	POWERランプ (緑)		リモコンでエンジンがかからずに この表示になる場合は、P/N検出 のできない車種です。	フットブレーキ配線が必要です。 (P15)参照
7	ERRORランプ (赤)		本機作動中にフットブレーキを 踏んだ時の状態	解除するには再度リモコンでスタート させるかIGキーをONの位置までまわ してください。
	POWERランプ (緑)			
8	ERRORランプ (赤)		本機作動中にボンネットスイッチ (Be-960オプション)が働いた状態	解除するにはIGキーをONの位置 までまわしてください。
	POWERランプ (緑)			
9	ERRORランプ (赤)		バッテリー電圧が下がっている時 の状態	バッテリーを交換するか、充電を してください。
	POWERランプ (緑)			
10	ERRORランプ (赤)		メインユニットのリレーが溶着し ています。	弊社サービス部(05613)6-5654 までご連絡ください。
	POWERランプ (緑)			

メインユニット(チェックランプ)

チェックランプ名称(色)	表示内容	対策/解決方法
フットブレーキ配線(赤)	フットブレーキを踏んだ時、点灯すれば正常です。 (フットブレーキ配線をした場合)(P15参照)	点灯しない場合、もしくは常に点灯している場合は 配線場所が違う可能性があります。
L端子配線(緑)	L端子に電流が流れている時、点灯すれば正常です。 (L端子配線した場合)(P16参照)	点灯しない場合、もしくは常に点灯している場合は 配線場所が違う可能性があります。
アース取付(赤)	イグニッションキーをONにしている時、常に点灯すれば 正常です。	点灯しない場合、アース不良が考えられます。

取付け(メインユニットのファンクションスイッチ設定方法)

メインユニットには下記の設定をするためのファンクションスイッチがついています。



ファンクションスイッチNo.	スイッチの働き	内容	OFF	ON
1	IG入力検出の選択 (注意1)	イグニッションキー入力の検出がIG2の車種はONにします。(通常はOFFにします)	使用しない	使用する
2	フットブレーキ検出の選択	フットブレーキ配線をした場合、必ずONにします。	使用しない	使用する
3	ST(セル)出力時のIG2の選択(注意2)	セルをまわしている間、IG2が0(v)になる車はONにします。(P8 3 参照)	使用しない	使用する
4	自動調整セル機能の選択 (注意3)	L端子の電圧を検出し、セルを止めます。(通常はOFFにします)	使用しない	使用する

注意 1. ダイハツムーヴの一部車種でリモコンでかけた時、アンテナユニットのパワーランプが点灯したままセルがまわらずエンジンがかからなかったり、ターボタイマーを使用した場合、キーを抜いてもパワーランプが点灯したままエンジンが停止しない場合があります。その場合はスイッチをONにしてください。

2. この設定をしないとABSランプが点灯したり、エンジンがかからない場合があります。(P8 3 参照)

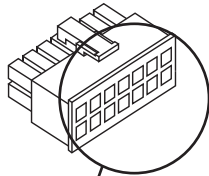
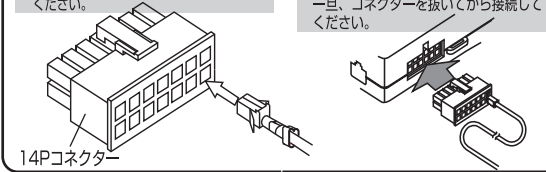
3. ほとんどのお車はL端子配線した時もスイッチをOFFのままでもかまいません。しかし一部車種はOFFのままですとエンジンがかかってもセルを少し回してしまう場合があります。その場合はスイッチをONにしてください。

取付け(メインユニット14Pコネクターの接続方法)

メインユニットには下記の線を接続するための14Pコネクタが付属しています。

取付け方

- ①付属14Pコネクタに配線する端子をしっかりと差し込みます。
※差し替えることができませんので注意してください。
- ①付属14Pコネクタをメインユニットにしっかりと差し込んでください。
※オプション等を後から取付けする場合は一旦、コネクタを抜いてから接続してください。



14Pコネクタ

14	13	12	11	10	9	8	上側
7	6	5	4	3	2	1	下側

14Pコネクタ接続内容

NO.	内容	NO.	内容
1	フットブレーキ(P15参照)	8	未使用
2	L端子(P16参照)	9	未使用
3	ボンネットセンサー(付*)	10	未使用
4	ボンネットセンサー(付*)	11	アース
5	カーテシ(オプション)	12	オートライト(付*)
6	未使用	13	未使用
7	防犯システム(P21)	14	未使用

■フットブレーキ (NO.1)

本機作動中、フットブレーキを踏んだ時の信号を検出します。(P15参照)

■L端子 (NO.2)

エンジン始動信号を検出します。(P16参照)

■ボンネットセンサー (NO.3・4)

当社別売ボンネットセンサー(Be-960)を接続するための端子です。ボンネットが開いている状態ではリモコンでエンジンはかかりません。

■カーテシ (NO.5)

当社別売ドアオープン(カーテシ)センサー(Be-963)を接続するための端子です。リモコンでエンジン作動中、ドアを開けるとエンジンを強制停止できます。ターボタイマー作動中はドアを開けてもエンジンは停止しません。

■防犯システム(No.7)

弊社別売自動車盗難警報装置「守護神」との接続に使用します。(P21参照)

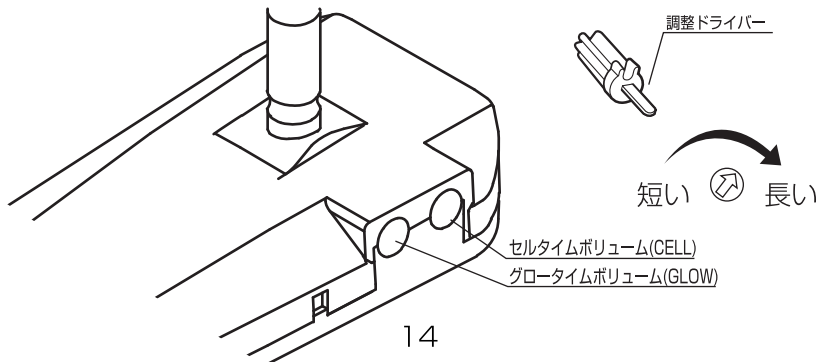
■オートライト(No.12)

当社別売オートライト(Be-964)を接続するための端子です。スターターやターボタイマーを使用する時、車のオートライト機能を「AUTO」にするとヘッドライトが点灯したままになる車種に必要です。

セル&グロータイムボリュームの調整の仕方

アンテナユニットにはセル時間とグロー時間を調整するボリュームがあります。調整するには、付属の調整ドライバーをご使用ください。下記に示す問題が起こった時に、調整してください。

1. リモコンでスタートさせると、セルだけ回ってエンジンがかからない。



取付け(フットブレーキ配線)

⚠注意

次の車種は、シフトポジション検出が正常にできない可能性があります。その場合は、**ファンクションスイッチ2をONにしてシフトポジション検出を無効にしてください。**その際、**安全の為必ずフットブレーキ配線を行ってください。**

※シフトチェンジの際、必ずフットブレーキを踏むので、シフトポジション検出のかわりとして使用します。

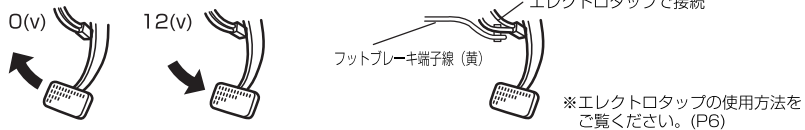
- ・日産の全ての車種。*但し、Y33系のシーマ、セドリック、グロリアで、パードビューナビゲーション装着車はパーキングブレーキへ配線してください。
- ・スターター作動時または、ターボタイマー作動時シフトレバーをP/N以外の位置へ動かした時にエンジンが止まらない車種。(イグニッションキーがACCの位置)
- ・シフトレバーがPの位置で、リモコンスタート時にアンテナユニットのERRORランプ(赤)とPOWERランプ(緑)が同時に点滅する場合。
- ・エアバック等の警告ランプが点灯する車種。

1 メインユニットのファンクションスイッチNo.2をONにしてください。

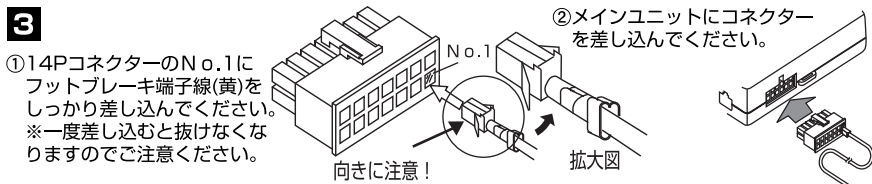


2 付属のフットブレーキ端子線(黄)をフットブレーキへ配線してください。

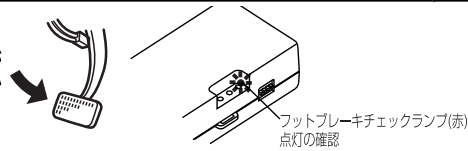
フットブレーキを放した状態で 0(v)、踏んだ状態で 12(v) の線に付属のフットブレーキ端子線(黄)をエレクトロタップで接続してください。



3 ①14PコネクタのNo.1にフットブレーキ端子線(黄)をしっかり差し込んでください。
※一度差し込むと抜けなくなりますのでご注意ください。



4 IGキーをONにした状態で、メインユニットのチェックランプのフットブレーキランプがフットブレーキを踏んだ時に点灯しているか確認してください。



5 リモコンでエンジン始動中に、フットブレーキを踏んでエンジンが止まるか確認してください。(LED確認表P12のNo.7を表示しているか確認してください。)

取付け(L端子検出配線について)

■簡略化されたエンジン始動検出 (L端子配線省略可能)

A-13には、2種類(自動検出・L端子検出)のエンジン始動検出方法があります。
ほとんどの場合、自動検出でエンジン始動を行なえますが、一部車種でできない場合があります。

※自動検出ができなくてL端子の配線が必要とする車種の症状

- ・エンジンがかかったり止まったりをくり返す。
- ・セルが回らないにもかかわらず、POWERランプだけ点滅し、本機作動中となっている。
- ・寒い時はエンジンがかからないが、暖かい時はかかる。

又、ディーゼル車や寒冷地にてご使用される方はL端子検出を行うと、より確実なエンジン始動が可能です。

以下の手順でL端子配線を行ってください。

注意

- ・トヨタ ランドクルーザー80系(全車)は、メインユニットファンクションスイッチNo.4(自動調整セル機能)をONにしないでください。
- ・シフトレバーをパーキング[P]にしてイグニッションキーを抜いてから作業を行ってください。
- ・寒い時にチャージランプが消えない車はL端子配線ができない為、別売のアイドリングセンサー(Be-956L)をお求めください。

1 エンジンルームと室内の壁面にあるゴムパッキンなど、線が通る場所にカッターナイフ等で穴を開けA-13L端子線(白)を図の様に室内側からいれてください。

2 車のL端子線(オルタネータの所にあります)まで、A-13L端子線(白)を配線してください。

3 車のオルタネータにあるL端子を探して下さい。

車側L端子の見分け方

キーの位置	ON(セルまで回さないでONで止める)	ON(セルを回してエンジンをつける)
キーの位置		
エンジンの状態		
電圧	4V以下	6V以上

4 車のL端子線とA-13L端子線(白)を付属の電ロタップで接続してください。

5 ①付属コネクターのNo.2(下の段の右から2番目)にL端子線(白)をしっかり差し込んでください。
※一度差し込むと抜けなくなりますのでご注意ください

②メインユニットにコネクタを差し込んでください。

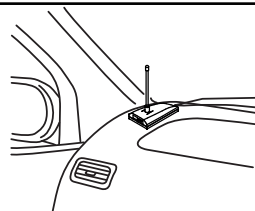
6 イグニッションキーでエンジンを始動し、メインユニットのL端子チェックランプ(緑)が点灯するのを確認後、イグニッションキーをOFFにしてください。

取付け(アンテナ・メインユニットの固定方法)

■アンテナユニットの取付け・配線

- !** 注意 ・アンテナユニットは視界の妨げにならない場所に取付けてください。
・アンテナユニットは、エアバック（助手席・サイド含む）の作動に影響の無い場所に取付けてください。
・両面テープを貼る際は、あらかじめ汚れや脂分をよくふきとってから貼ってください。

アンテナユニットを付属の両面テープで、車外からアンテナが見える場所にしっかりと固定します。

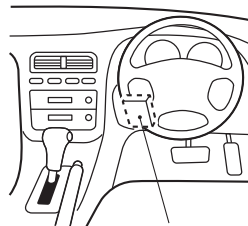


ダッシュボード取付け例

■メインユニットの取付け

- !** 注意 ・メインユニットの固定・配線を行う前に、作動確認（P10～11）を行ってください。
・エアコンやヒーター等の熱風を受ける場所・直接日光の当たる場所・不安定な場所・運転の妨げになる場所への取付けは避けてください。

運転の妨げにならない場所に、付属のインシュロックを使ってしっかりと固定してください。（アンダーカバー内側等）



（例：この部分に取付けます。）

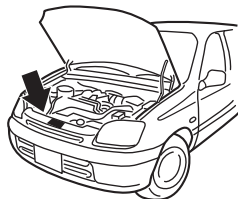
(警告ステッカーの貼り付け場所)

■警告ステッカーについて

- ・本機を取付けた車を第三者が使用又は整備をする場合、安全にお使い頂くため付属の「警告ステッカー」を必ず貼り付けてください。

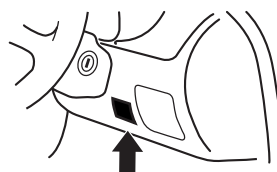
1 警告ステッカー（大）の貼り付け場所

- ・ボンネット（ワンボックス車の場合エンジンルームカバー）を開けた時、エンジンの熱を直接受けない目立つ場所に貼り付けます。



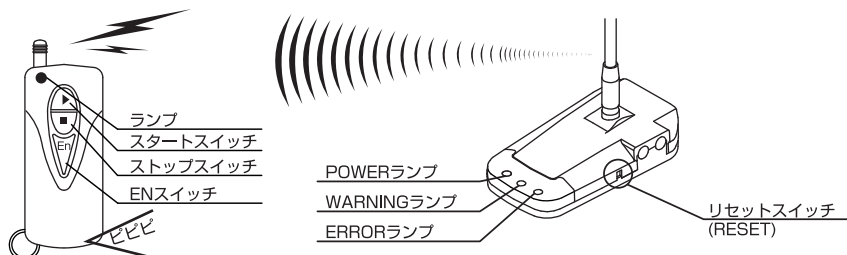
2 警告ステッカー（小）の貼り付け場所

- ・ボンネットオープナー（ワンボックス車の場合エンジンカバーフック）付近に貼り付けます。



機能説明(リモコンの使用方法和アンサーバック機能について)

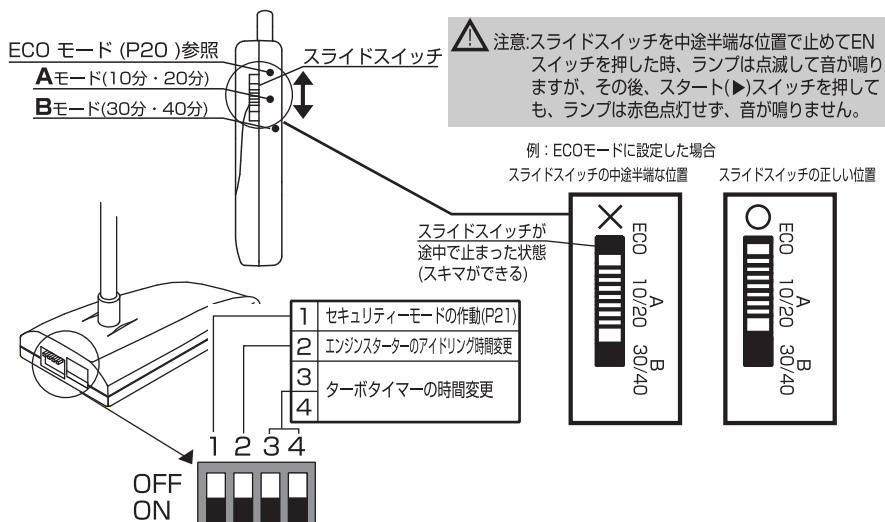
■リモコンにはエンジン始動状態をランプの色とブザーの音でお知らせするアンサーバック機能を備えています。



動作内容	操作方法	アンサーバック
IDコードをセットする。 (本機を取付けた時や、バッテリーを交換した時、又、新しくリモコンを購入した時に行います。)	①アンテナユニットのリセットスイッチを押します。 (アンテナユニットのPOWERランプとERRORランプが点灯します。) ②リモコンのENスイッチを押した後、リモコンの赤色ランプが点滅している間にスタートスイッチとストップスイッチを同時に押します。(電波発信時ランプは赤色点灯) (アンテナユニットのPOWERランプとERRORランプが消灯すればセット終了です。)	受信したとき ピロピロピロ(緑色点灯) 受信しなかったとき ブー(ランプは点灯しません) 送信できなかったとき プッププ(ランプは点灯しません)
エンジンをかける。 (エンジンスターター)	①リモコンのENスイッチを押した後、リモコンの赤色ランプが点滅している間に、スタートスイッチを押します。 (電波発信時ランプは赤色点灯)	受信したとき ピロピロピロ(緑色点灯) 受信しなかったとき ブー(ランプは点灯しません) 送信できなかったとき プッププ(ランプは点灯しません)
エンジンがかかっているか確認する。 (エンジンスターター)	①リモコンのENスイッチを押した後、リモコンの赤色ランプが点滅している間にスタートスイッチを押します。 (電波発信時ランプは赤色点灯) (アンテナユニットのPOWERランプとERRORランプが消灯すればセット終了です。)	エンジンがかかっているか ピロピロピロ(緑色点灯) ピロピロ(オレンジ色点灯) ピロピロ(緑色点灯) 送信できなかったとき プッププ(ランプは点灯しません)
エンジンを止める。 (エンジンスターターボタマー)	①リモコンのENスイッチを押した後、リモコンの赤色ランプが点滅している間にストップスイッチを押します。 (電波発信時ランプは赤色点灯)	受信したとき ピロピロピロ(緑色点灯) 受信しなかったとき ブー(ランプは点灯しません) 送信できなかったとき プッププ(ランプは点灯しません)
セキュリティーモードをスタートする。 (詳しくは21ページを読んでください。)	①スタートスイッチを押します。 (電波発信時ランプは赤色点灯) (WARNINGランプが点滅すれば終了です。)	受信したとき ピロピロピロ(緑色点灯) 受信しなかったとき ブー(ランプは点灯しません) 送信できなかったとき プッププ(ランプは点灯しません)
セキュリティーモードをストップする。 (詳しくは21ページを読んでください。)	①ストップスイッチを押します。 (電波発信時ランプは赤色点灯) (WARNINGランプが消灯すれば終了です。)	受信したとき ピロピロピロ(緑色点灯) 受信しなかったとき ブー(ランプは点灯しません) 送信できなかったとき プッププ(ランプは点灯しません)

機能説明(エンジンスターター及びターボタイマーの時間変更について)

- エンジンスターターのアイドリング時間設定はリモコン(スライドスイッチ)で設定を行います。
- ターボタイマーの時間設定はアンテナユニット(ファンクションスイッチNo.3・4)で設定を行います。



■エンジンスターターアイドリング時間の設定

スイッチ	リモコン (スライドスイッチ)	アンテナユニット (ファンクションスイッチNo.2)
アイドリング時間		
10分にするには	Aモードにします	OFFにします
20分にするには	Aモードにします	ONにします
30分にするには	Bモードにします	OFFにします
40分にするには	Bモードにします	ONにします

■ターボタイマー時間の設定

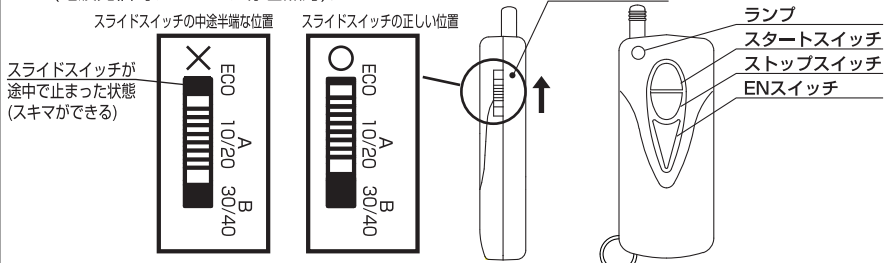
ファンクション スイッチ	アンテナユニット(ファンクションスイッチ)	
	No.3	No.4
ターボタイマー		
使用しない	OFFにします	OFFにします
30秒	ONにします	OFFにします
1分	OFFにします	ONにします
5分	ONにします	ONにします

機能説明(ECOモードについて)

本製品は限りある資源を有効利用するため、独自に開発されたアイドリング時間自動調節システム ECOモードを採用しています。ECOモードに設定した場合、内蔵温度センサーが車内温度を感知し、自動的にアイドリング時間を設定します。

操作手順

- ①リモコンスライドスイッチをECOモードに合わせてください。
- ②ENボタンを押した後、リモコンの赤色ランプが点滅している間にスタートスイッチを押してください(電波発信時ランプは、赤色点灯)。



リモコンアンサーバックについて

	リモコンアンサーバック	
	音	ランプ
受信したとき	ビロビロビロ	緑色点灯
受信しなかったとき	ブー	点灯しません

- アイドリング時間は、リモコンスタート時の車内温度によって自動的に設定されます。(下記表を参照してください。)

アイドリング時間設定表

車内温度(℃)	アイドリング時間(分)
60～	40
55～ 60	35
50～ 55	30
45～ 50	25
40～ 45	20
35～ 40	15
30～ 35	10
15～ 30	5
10～ 15	10
5～ 10	15
0～ 5	20
0～- 5	25
-5～- 10	30
-10～- 15	35
-15～	40

例)車内温度が-3℃の場合、25分間アイドリングして、停止します。

※アイドリング時間はあくまでも目安値となります。使用環境や内部電子部品の特性によって多少の誤差があります。

機能説明 (セキュリティーモード&弊社別売自動車盗難警報装置「守護神」との接続について)

■セキュリティーモードとは

アンテナユニットに内蔵している高輝度LEDを発光させて不審者に心理的威圧感を与えるものです。セキュリティーモードONの時はWARNINGランプが点滅します。

■弊社別売自動車盗難警報装置「守護神」との接続方法

①14PコネクターのNo.7に自動車盗難警報装置「守護神」接続端子線(茶)をしっかりと差し込んでください。
※一度差し込むと抜けなくなりますのでご注意ください。

拡大図 向きに注意!

②メインユニットにコネクタを差し込んでください。

③A-13の自動車盗難警報装置「守護神」接続端子線(茶)と「守護神」付属コネクターの電源検出線(茶)を接続して下さい。

接続

セキュリティーモード&「守護神」の操作手順

①アンテナユニットのファンクションスイッチNo.1をONにしてください。(セキュリティーモード使用の場合)

②セキュリティーモードと「守護神」をスタートする場合はリモコンスタートスイッチを押してください。(ENボタンは押さないでください。)(電波発信時ランプは赤色点灯)

解除する場合はリモコンストップスイッチを押してください。(ENボタンは押さないでください。)(電波発信時ランプは赤色点灯)

また、キーをONにしても解除できます。(セキュリティーモードのみ)

セキュリティーモード

OFF
ON

1

アンテナユニット

スタートスイッチ
セキュリティーモードスタート

ストップスイッチ
セキュリティーモードストップ

スタート

ストップ

WARNINGランプ

リモコンアンサーバックについて

リモコン電波を	リモコンアンサーバック	
	音	ランプ
受信したとき(セキュリティーモード開始)	ピロピロピロ	緑色点灯
受信しなかったとき(セキュリティーモード未開始)	ブー	点灯しません

※「守護神」のON/OFFのアンサーバックはありません。

注意 10日以上車を走行させない時は必ずセキュリティーモードをOFFにしてください。バッテリー電圧が低下する可能性があります。

運転するには

■運転するには

本機リモコンでエンジンをかけた状態だけでは走行できません。
運転するときは、必ずキーをONの位置までまわしてから走行してください。
※フットブレーキ配線時は、ブレーキを踏まずにONの位置まで回してください。
(フットブレーキ配線をしている時は、キーをONにしない状態でフットブレーキを踏むとエンジンが止まります。)

⚠ 注意

- ・キーをSTARTの位置までまわすと、セルモーターが故障するおそれがある為、必ずONの位置でキーを止めてください。
- ・キーをONの位置までまわさずに走行すると、走行中エンジンが停止し、パワーステアリングが効かなくなる等大変危険です。



リモコンを紛失したときは

リモコンを紛失または破損した場合

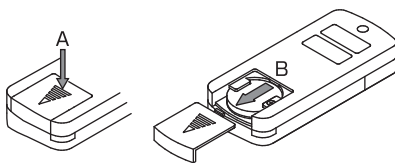
新しいリモコン(別売)だけを購入すればIDコードを既存のアンテナユニットに再登録することによりすぐにご使用いただけます。 別売リモコン 定価¥20,000(税別)
IDコードの登録方法はP18(IDコードをセットする)に記載しています。

リモコンの電池交換について

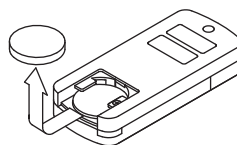
⚠ 注意

- ・電池寿命の目安は新品の電池で1日2回使用した場合、約1年間持ちます。(出荷時は新品の電池をセットしていますが、自然放電や使用する条件によって1年以下の場合があります。)
- ・リモコンはリチウム電池(CR2032)を2個使用しています。それ以外の電池は絶対に使用しないでください。故障の原因となります。

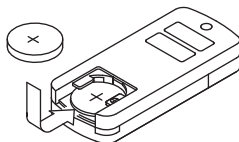
1 電池カバーのA部を下に押しながら、B方向にずらして取り外します。



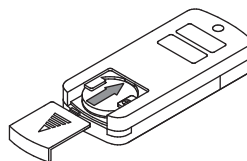
2 電池(CR2032)を矢印の方向に従って1個ずつ取り外します。



3 新品の電池(CR2032)を矢印の方向に従い+を上向きにして1個ずつ入れます。



4 電池カバーを閉めます。



故障かな?と思ったら

■エンジンスターター

症状	確認内容	対処方法
リモコンでエンジンが始動しない。 ※本体の電源が入らない。	・専用ハーネスは車に適合していますか?	・適合した専用ハーネスをご使用ください。
	・専用ハーネスは確実に接続されていますか?	・確実に接続してください。
	・アースはとれていますか?	・メインユニットのアースチェックランプを確認してください(P12)
	・リモコンのアンテナは伸ばしていますか?	・リモコンのアンテナを伸ばしてください。
	・リモコンと車の間に遮蔽物がありますか?	・遮蔽物の少ない場所へ移動してください。(P24の「電波の到達距離について」を参照)
	・リモコンの電池が消耗していませんか?	・新しい電池と交換してください。(P22)
	・本体内の「IDコード」が消失している可能性があります。	・P18の「IDコードをセットする」を行ってください。 ・頻繁に発生する場合は、弊社までご連絡ください。
・リモコンが壊れている可能性があります。	・弊社までご連絡ください。	
リモコンでエンジンが始動しない。 ※本体の電源は入る。	・専用ハーネスは車に適合していますか?	・適合した専用ハーネスをご使用ください。
	・専用ハーネスは確実に接続されていますか?	・確実に接続してください。
	・アンテナユニットのランプ表示はしていますか?	・P12の「LED確認表」を参照し、P10、11の「作動確認」を行ってください。
	・アンテナユニットのPOWERランプ(緑)とERRORランプ(赤)が点灯していますか?	・P18の「IDコードをセットする」を行ってください。 ・頻繁に発生する場合は、弊社までご連絡ください。
リモコンでエンジンは始動するが、設定時間よりも先にエンジンが停止してしまう。	・アイドリング時間の設定は確実ですか?	・P19「エンジンスターターアイドリング時間の設定」を参照し確認してください。
	・アース不良が発生していませんか?	・メインユニットのアースチェックランプを確認してください。(P12)

■ターボタイマー

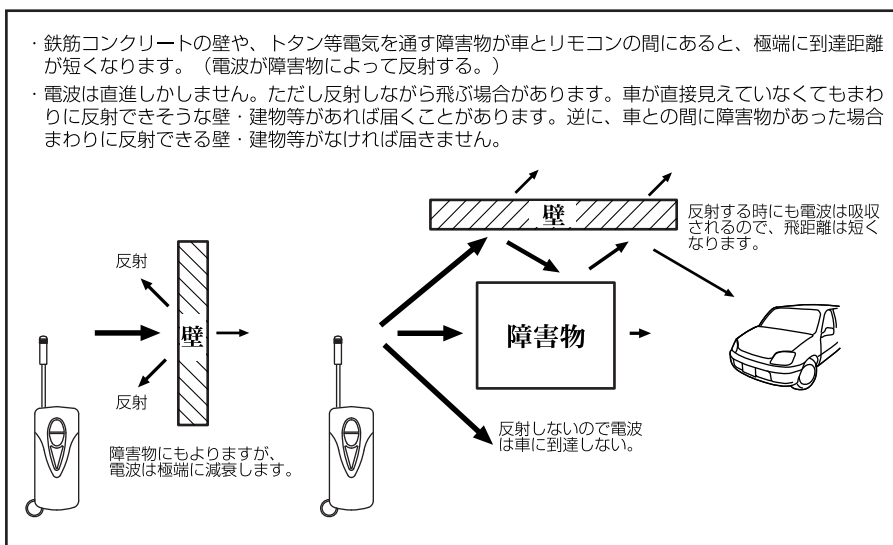
症状	確認内容	対処方法
ターボタイマーが作動しない。 (ACC電源もきれる)	・ターボタイマー機能が設定されていますか? (出荷時の設定はOFFです)	・P19「ターボタイマー時間の設定」を参照し設定してください。
	・アンテナユニットのERRORランプが点滅していますか?	・フットブレーキを踏みながら、イグニッションキーをOFFにしていますか?

故障かな？と思ったら

■ その他

症状	確認内容	対処方法
リモコンで操作できる距離が極端に短い。	・ リモコンのアンテナを伸ばしていますか？	・ リモコンのアンテナを伸ばしてください。
	・ リモコンと車の間に遮蔽物がありますか？ ※電気の流れる材質は、電波を通しにくくなっています。 (金属・鉄筋コンクリート・トタン壁等)	・ 遮蔽物の少ない場所へ移動してください。 (下記「電波の到達距離について」を参照)
	・ リモコンの電池が消耗していませんか？	・ 新しい電池と交換してください。(P22)

■ 電波の到達距離について (電波特性)



アフターサービスについて

■保証書

保証書は、必ず「販売店名・購入年月日」などの記入をご確認のうえお受け取りになり、保証内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。

■保証期間

ご購入日から1年間です。

■修理を依頼される時

「取付け・接続完了後の作動確認」と「故障かな？と思ったら」のページを参照し点検をしていただいても、なお異常のある時は故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

○保証期間内の場合

恐れ入りますが、取付け販売店に取付け車両と保証書をご持参ください。保証規定に従って修理いたします。

○保証期間が経過している場合

有料修理となります。販売店にご相談ください。

■アフターサービス等について

アフターサービス等についてご不明な点は販売店にお問い合わせください。

■リモコンを紛失または破損

リモコンを紛失や破損した時は、販売店にお問い合わせください。

再度購入されたリモコンの再登録の方法は、P18表「IDコードをセットする」をお読みください。

本書にしたがって、正常な取付け・接続・使用状態で製品に故障が生じた場合は、「保証書」の保証規定にしたがって修理いたします。ただし、上記以外の取付・接続・使用状態による車の故障や事故等の付随的傷害・損害の保証については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

仕様

■送信機 (リモコン)

技術基準	RCR標準規格テレコントロール用無線設備適合
送信周波数	429.2MHz帯 10波のうち1波
識別IDコード	1000万種
送信出力	10mW
電波形式	F1D
呼出名称	送信時に自動送出
周波数安定度	±4ppm以内
周波数偏位	±2.5KHz以内
送信時間	3秒以内
送信休止時間	2秒以上
受信周波数	429.2MHz帯 10波のうち1波
受信感度	-116dBm以下で安定動作
局発安定度	±4ppm以内
送受信アンテナ	内蔵フレキシブルアンテナ
動作温度範囲	-20℃～+60℃
使用電池	リチウム電池 CR2032×2
ケース寸法	31 (W) ×73 (H) ×15 (D) mm
重量	33g (電池含む)

■アンテナユニット

技術基準	RCR標準規格テレコントロール用無線設備適合
送信周波数	429.2MHz帯 10波のうち1波
送信出力	10mW
電波形式	F1D
呼出名称	送信時に自動送出
周波数安定度	±4ppm以内
周波数変移	±2.5KHz以内
送信時間	3秒以内
送信休止時間	2秒以内
受信周波数	429.2MHz帯 10波のうち1波
受信感度	-116dBm以下で安定動作
送受信アンテナ	1/4λホイップアンテナ
動作温度範囲	-20℃～+70℃ 温度センサー温度誤差範囲 ±2℃
電源電圧	12v車専用(DC8v～16v)
消費電流	待機時10mA以下(セキュリティーモードオフの時)
ケース寸法	46(W)×80(H)×16.4(D)mm
重量	78g

■メインユニット(リレー部)

リレー容量・個数	40A×2 (IG1・IG2) 25A×4 (ACC・ST1・ST2・ST-CONT)
寸法	61 (W) ×123 (H) ×29 (D) mm
重量	210g